

2019年度

# 新任教員の紹介



森林圏遺伝子  
統御分野  
助教  
棟方 涼介

2020年3月1日付けで森林圏遺伝子統御分野の助教に就任いたしました。その前はフランスのロレーヌ大学でポストクをしておりました。フランスといえばワインを思いつく方も少なくないと思います。ワインを飲むたびに、我々はブドウ由来の化合物の風味、例えばタンニンの渋みなどを感じています。さらに、お茶やコーヒーに含まれる覚醒成分のカフェインや、香り成分、ビタミン類、医薬品原料など、植物が作る化合物は身近なところで私

たちの生活を支えています。植物由来の化合物は100万種にも及ぶとされ、この莫大な数の天然資源は、環境保全と調和した持続的社会的構築に貢献すると期待されています。

しかしながら、植物の化合物の生産機構はまだ不明なところが多いのが課題です。そこで、私は薬用植物、また柑橘類やセリ科の野菜といった作物を実験材料にして、植物細胞内で化合物が酵素によってどのように作られるのか？また作られた後、どのようにして蓄積または分泌されるのか？といった疑問に答えるべく、関連する遺伝子を見つけ、その機能を解析しています。さらに、これらの成果を基に有用な植物化合物の大量生産に向けた応用研究も進めています。

様々な方々との交流を通して研究を深め、また成果を国内外に発信しながら、

植物が持つポテンシャルを活用して生存圏科学の発展に尽力したいと考えています。よろしくお願いいたします。

